

「いのちの差別を許さない！」 ハヤト裁判を支援する会

連続学習会

第2回 学習会

講師

日本福祉大学

木全和巳 教授

- ・入所施設の現状と問題点
- ・知的障害者の支援について
- ・障害者の人権、差別など



日時

2017年6月5日(月)
18:30~20:30

資料代 300円

会場 名古屋第一法律事務所 3F

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-18-22 三博ビル

WEB <http://hayato-sosho.link/>

主催：ハヤト裁判を支援する会 連絡先：090-7693-1972（伊藤）

ハヤト裁判

鶴田早亨（つるたはやと）さんは重度の知的障害者でした。

2013年3月22日、施設の職員が早亨さんから目を離した際に早亨さんは施設を抜け出してしまいました。外へ出た早亨さんは、1キロほど離れたスーパーでたくさんのドーナツを食べて喉に詰まらせ窒息しました。救急車で病院に搬送されましたが、病院で死亡しました。28歳でした。事件後、施設側から遺族に対して、損害賠償額の提示がありました。しかし、その金額は同年代の健常者の場合に比べるとたった4分の1程度でした。

2014年8月、遺族は施設側に対して損害賠償を求めて名古屋地方裁判所に提訴しました。遺族と弁護士は、いのちの価値の平等を求めて裁判を闘っています。

＜ハヤト裁判を支援する会 からの出席者＞

中谷雄二 弁護士

森田茂 弁護士

伊藤啓子（ハヤト裁判支援会事務局長、晃平くん「いのちの差別」裁判元原告）

鶴田明日香（ハヤト裁判原告）

MAP

地下鉄桜通線「丸の内駅
エレベーター出口」下車すぐ

